

『暮らしの道具を訪ねる』

～なつかしい山里ですごす一日～



熊野の山間部、神川町に「碓（いかり）」という小さな集落があります。ここでは今も棚田が広がり、集落内に炭窯や墓地のある風景を見ることができます。また、歴史の古い山寺権現伏拝という神社の遥拝所があり、今も大切にお祀りされています。

今回訪ねるのは碓に4件残る家の一つ、松田さんご夫妻のお宅です。家主の松田千畝さんは御年92歳、奥さんとともに、毎日農業や山仕事をしておられます。



松田千畝さん



松田淳さん

皆さんは、日頃暮らしの中でどのような道具を使われますか？松田さんのお宅では、生活形態と結びついた道具がとても興味深いことに気がきます。今は家庭でほとんど見かけなくなったもの、どこかの資料室で眠っているような道具があたりまえに使われ、生活に息づいているのです。本講座で、これらをあらためて見せていただきましょう。より道具を楽しむために三重・紀南エコツーリズムガイドの鈴木祥嗣さんと山川治雄さんにもいっしょに行っていただきます。山の道具や昔の農工具を良く知る方達です。

松田さんの暮らしの道具を拝見することから、ものの命を大切にする、ということを確認するだけでなく、田畑を耕す、食事を作る、神仏を祀るという日本人が大切にしてきた暮らし、丁寧に生きるということの輪郭を見ることができるかもしれません。



鈴木祥嗣氏 熊野市新鹿町の林業家。
三重・紀南エコツーリズムガイド。



山川治雄氏 山歩きの達人。
三重・紀南エコツーリズムガイド。

実施要領

■日時

平成20年11月2日（日） 延期の場合は翌日3日（月・祝）

■集合

熊野市神川町神上「田本研造生家跡」駐車場

■行程

8：30 神川町神上集合、オリエンテーション
8：45 神川町碓へ、山道を徒歩で移動（1時間程度）
10：00～ 碓へ到着、松田さん宅を拝見・散策
12：00 昼食
12：40～ オリエンテーション後、山道を徒歩で移動（1時間程度）
14：30ころ 駐車場にて解散

（多少時間が前後することがあります。ご了解下さい。）

■募集人数

6名様

（お申し込み多数の場合は、10月21日（火）に抽選で決めさせていただきます。お二人以上で一緒に参加ご希望の場合は、グループで一人として抽選します。）

■お申込締め切り

10月20日（月）必着

■参加費

1,800円

【ガイド料、国内旅行保険・賠償保険・実施経費の一部（現地調査費、通信費）】

■持ち物

昼食、飲み物、軽登山靴またはスニーカー、帽子、雨具など各自必要なものをご準備してください。

■案内役

鈴木祥嗣氏（三重県熊野市新鹿町）、山川治雄氏（三重県熊野市有馬町）

■ご注意

この企画は紀南ツアーデザインセンターが地域づくりのために作成した学習プログラムに、希望者が自己責任において任意で参加していただくものです。万一の怪我や事故などに対する補償は、加入する国内旅行保険の範囲内で行いますので、ご了解の上ご参加ください。

◇お申込み方法（[参加申込書はこちら](#)⇒）

郵便、ファックスまたはEメールでお申込みください。

ご参加をお待ちしています。

紀南ツアーデザインセンター 担当：小山